



資格さえあれば、将来は安泰なのか？

今、多くの学生が「資格」という言葉を口にします。「資格を取れば将来が有利になる」「資格があれば就職の武器になる」……資格を取ることがいろいろな面で大きなアドバンテージになると考えているようです。

もちろん、それはある面で正しいと思います。本学でも社会福祉士や教員免許をはじめ、さまざまな資格取得に向けたカリキュラムを用意しており、多くの学生が望む資格を手にして欲しいと万全のバックアップ体制でフォローしています。しかし、一方でこう考えています。「資格取得はあくまでも望む進路に向けての1歩に過ぎず、資格が安定した将来を約束する手形にはなるわけではない」と。

資格は自分を支えてくれる。それに間違いはありません。ただ「自分の何を資格は支えてくれるのか」。その『自分の何を』の部分がしっかりしていなければ、せっかく資格も有効に活かすことはできないのではないのでしょうか。

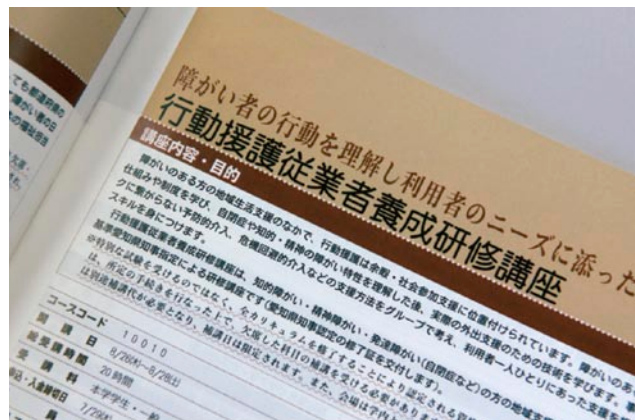
「資格さえあれば何とかなる」。その安易な考え方から抜け出して、まずは自分の進路をしっかりと模索し、そこに必要な資格は何かと考える。資格が望み通りに自分を支える武器となるよう、今回は「資格と将来」について、保護者の皆さんとともに考えていきたいと思います。

Vol.11

P.S. 就活中

Parents&Students communication guide

日本福祉大学 就職キャリア開発機構



2011年3月発行